

ハイテム メンテナンススクール 「養鶏第3の利益」最大化をサポート

(株)ハイテム(安田勝彦)

社長―本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2―10)は、2018年に新本社工場が稼働したのを機に、稼働展示センターを活用して「ハイテムメンテナンススクール」を実施している。

農場のオートメーション化と大型化が進展する中で、導入設備の円滑なメンテナンスは、農場の生産性向上と人材の育成・定着の面で重要性が増

している。

メンテナンススクールの内容は、①日常的な機械の保守・点検と主な修理対応の実作業体験②電気基礎知識、電気図の読み方、テストの使い方③ファームコンピュータの操作―などで、毎年6月と11月上旬を別途に2日間のプログラムで進めている。

ハイテムはエッグファームオートメーションの推進にあたり、納入後20

年以上にわたる期間の破卵率、電気代、飼料代(冬期舎内温度維持、ネスミシャットアウト)などのランニングコスト差が1

羽当たりの設備投資額を上回る可能性を「養鶏第2の利益」と呼び、「養鶏第2の利益」を最大化する設備の納入に注力しているが、円滑なメンテナンスから生じる利益を「養鶏第3の利益」と位置付け、的確な補修部品の納入や営繕工事を

羽当たりの設備投資額を含め、農場の「養鶏第3」力を続けたいとして「養鶏第3の利益」の最大化にも努める。



機械の保守・点検などの基礎知識を学ぶ「ハイテムメンテナンススクール」